

昨日 12 月 13 日の配信の<逆ラジオ通信 No.46 W-231213>のトピックスにも載せたように、1 年以上と長く続いた、【熊本宇城】のデータが急に減衰してきています。昨年 11 月ごろから 60 万超の壁状になった【熊本宇城】の大きく真っ赤な連続データがいったん約 87 万へ階段状に増加し、その後 12 月 5 日にデータが急に、0 になり、さらにその翌日の 12 月 6 日からはデータが急に緑色になって 7,000~12,000 にまで落ちてきて、ゆっくり減衰してきています。

7 年前の、2016 年 4 月の熊本地震の前兆は、【高知】と【広島】の観測点によく現れていて、同時に、当時、震源に近い【熊本】の観測点もあり、真っ赤な大きいデータが続いていました。しかし当時は事情により途中で装置を移設したことで、残念ながら正確なデータで無くなっていました。

今回の【熊本宇城】のデータの急な変化は大地震の前兆の可能性があり、周囲の【米子】や【高知安芸】【広島】などの収束傾向と関連しているとも考えられ、この先十分な警戒が必要です。以下のデータの推移の予想からとりあえず次のように予想します。

震源：九州、熊本周辺

地震の規模：M6 クラス以上

発震予想：12 月 23 日前後、または 12 月 24~28 日ごろ

なお関連して、熊本の近くの阿蘇山の火山性地震の数が 10 月末ごろから急に増加し、11 月 10 日ごろをピークにした山を作っています。この火山性地震の回数が今回の異常データと関連することも考えられ、以下に参考に載せておきます。

熊本宇城 720 日間データ



熊本宇城 360 日間データ



熊本宇城 60日間データ (収束時期の推測)



熊本宇城 60日間データ (収束時期の推測 その1)



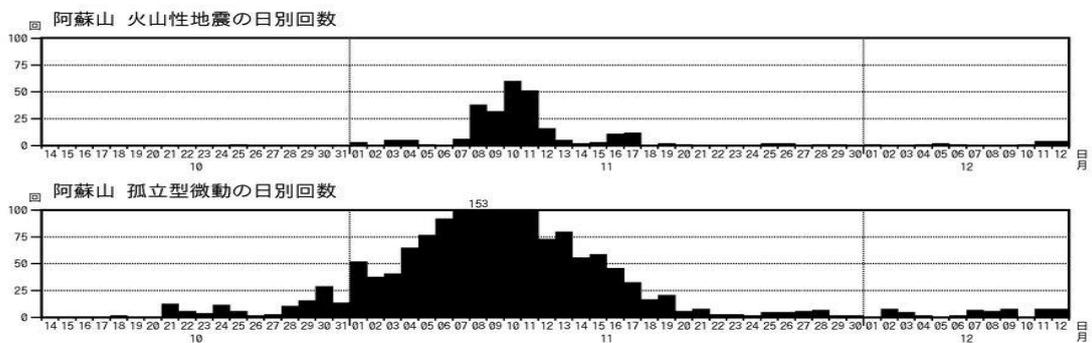
熊本宇城 30日間データ (収束時期の推測 その2)



阿蘇山の火山性地震の回数 気象庁より

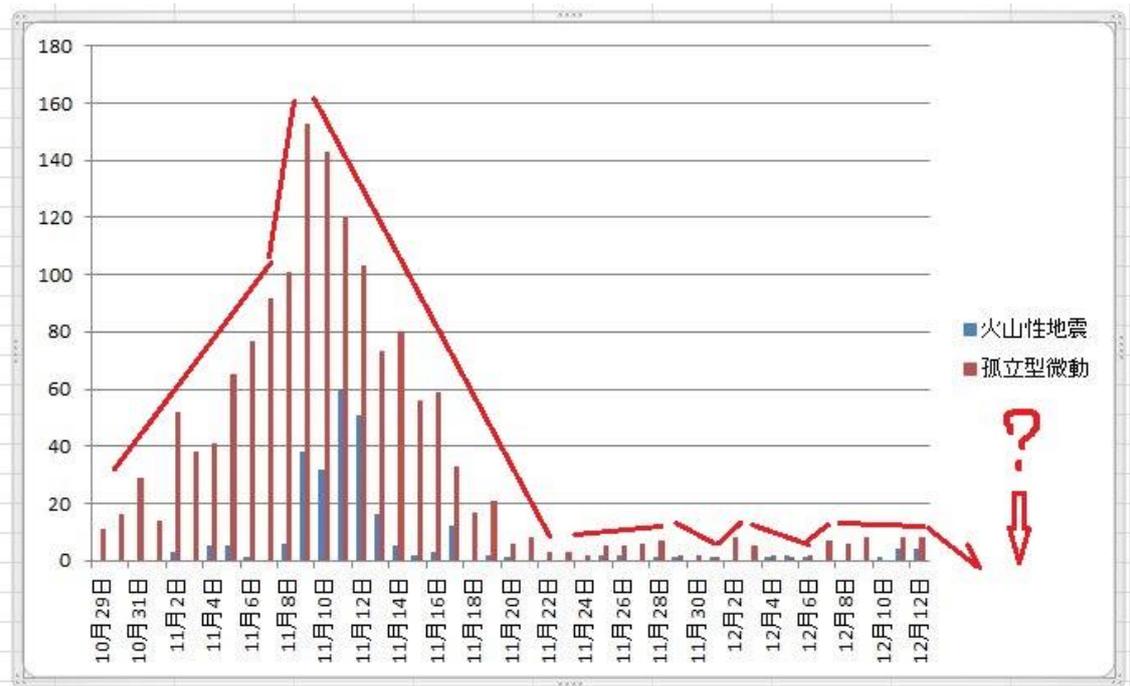
最近(2ヶ月間)の活動状況 <地震回数表等>

火山性地震・孤立型微動の回数



変動振幅が大きいときは、火山性地震、孤立型微動とも計数できない場合があります。

参考>阿蘇山 火山性地震の回数の推移 01 気象庁のデータをグラフ化



阿蘇山 火山性地震の推移 02 気象庁のサイトの地震回数をグラフ化したもの

